

事務事業名		市道改良事業			会計		一般会計		事業種別		政策		開始		終了		
H27担当課等名		土木課			H27係等名		道路係			H26係等名		道路係					
基本計画上の位置づけ		政策		4		暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
		施策		44		交通機関と道路の充実											
目的	対象(誰・何を)	市道										指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	便利で安全に移動ができる										市道延長:m		171140			
	向上させたい上位施策の成果指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%															
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)							
	成果指標	施工路線数:路線				72	71	60	70								
	成果指標	改良率:% (改良済延長/市道実延長×100)				52	52	53	54								
定性目標																	
事業概要	<p>一般市道は、通勤や通学、買い物など市民生活に密着した重要な生活道路として利用されている。しかしながら、幅員が狭小であったり路面の傷みが目立ったりしている箇所もあり、通行車両や歩行者の安全性や快適性の向上を目的として、幅員4m以上への拡幅改良、待避所設置・突角をとる等の整備及び未舗装区間を舗装する事業である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 一般道路改良事業(含:電源立地地域対策交付金事業)</li> <li>2 小規模道路改良事業(含:ふるさと道普請、交通安全対策事業)</li> <li>3 道路舗装事業</li> <li>4 生活関連道路整備事業</li> </ol>																
事業内容					名称					活動指標							
26年度事業内容	1 測量設計・地元協議・用地買収・物件補償・工事施工 [4m以上の拡幅工事・待避所突角等部分改良・未舗装市道の舗装工事] 一般道路改良事業・小規模道路改良事業・ふるさと道普請・交通安全対策事業・道路舗装事業・生活関連道路整備事業					1 事業実施路線					1 71路線						
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足											
事業費計(千円)①		89,739	118,611	114,710	60,955	(そ)広域負担金 10,291千円 (そ)繰越金 15,726千円 25→26 繰越明許額 15,726千円 26→27 繰越明許額 3,880千円											
国庫支出金																	
県支出金																	
起債																	
その他		413	26,016	26,017													
一般財源		89,326	92,595	88,693	60,955												
人件費計(千円)②		7,188		7,188													
正規職員所要時間		2,010		2,010													
臨時職員所要時間																	
総事業費①+②		96,927	118,611	121,898	60,955												
事業内容・目標達成状況の振り返り	数多くの地元要望の中で、優先順位、効率的な事業に努めた。																
改革改善の考え方	①問題点	すでに道路改良を行うことができる事業費ではないため、市民からの改良要望を受付ける状態ではない。															
	②改革提案	道路補修等維持工事の延長として道路改良を行う。															